

二十五年十月十日 野田新町共済会 北ノ橋に遷居し
 南側より橋原の千五百名（内野田 千七百十町民五名）
 之通しを並に支給す揚々す。

イ、野田の町工場のありあけ同。
 伊七三工場より必藤へ搬し引挽きは白班とウチ村と依し
 全工場より家庭より同種を二二手ありは白班加入より動
 機、主方より恒がらりり、事々此し初盛ノ業遂く物と云ふ事々
 少ノ結果見たり、如し

ニ、野田醸造 労働協会の執行部より一司宛
 二十五年十月十日より 野田共済会 橋上にて開議 事務本部
 部員より、野田支部より二部も元支部し是より野田より出
 井より野田支部より出ると云ふ迄、経過は略す、本々、野田協会の
 あり、高野共済会より出れば、協会の整理は、野田共済会より

地方を支援せしむる旨多支印し依頼す。

- 一、北金長農會 千五百円 一十日前
- 二、野田共済会 千五百円 一十日前
- 三、野田共済会 千五百円 一十日前
- 四、野田共済会 千五百円 一十日前
- 五、野田共済会 千五百円 一十日前
- 六、野田共済会 千五百円 一十日前
- 七、野田共済会 千五百円 一十日前
- 八、野田共済会 千五百円 一十日前
- 九、野田共済会 千五百円 一十日前
- 十、野田共済会 千五百円 一十日前